

7. 京田辺市の建造物調査

岸 泰子

1. 概要

京田辺市では2017年度から市史編さん事業を行っている。本市史では資料編として建造物・美術工芸をとりあげる予定である。

今年度、建造物部会では、寺社・民家の悉皆（一次）調査を実施し、そのなかから市史で取り上げる寺社・民家を抽出し、詳細（二次）調査を実施した。新型コロナウイルス感染症の流行が懸念されるなかで調査に協力していただいた地元の方々に感謝したい。

2. 調査内容

以下の日程で一次調査を実施した。

2021年4月20日（火） 6月8日（火）、6月14日（月）、6月28日（月）

また、二次調査は、以下のように実施した。

2021年10月19日（火） 甘南備寺、棚倉孫神社

11月16日（火） 佐牙神社御旅所、佐牙神社、西念寺、薪巖島神社

二次調査の参加者は、岸、登谷伸宏（京都工芸繊維大学准教授、京田辺市史編さん 美術工芸・建造物部会委員）、安部萌花（京都府立大学文学部歴史学科4回生）、川西優帆（同3回生）、松岡茉陽琉（同）、京都工芸繊維大学学生2名、である。建造物の調書作成、実測（平面図作成）、写真撮影などを行った。

また、2020年度に引き続き、2021年度もプロのカメラマンによる建造物の撮影を行う予定である。今年度は、酬恩庵（一休寺）と佐牙神社（いずれも国の重要文化財）を対象とする予定である。



写真1 甘南備寺全景